

# 令和3年度広瀬川における天然アユ遡上調査結果（5月分）

令和3年6月8日  
宮城県水産技術総合センター  
内水面水産試験場

宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場では、アユ釣り解禁前の情報提供と資源管理のための基礎データを得るため、毎年5月と6月に広瀬川において、天然アユの遡上状況を調査しています。本年度の5月分の調査結果は、以下のとおりです。

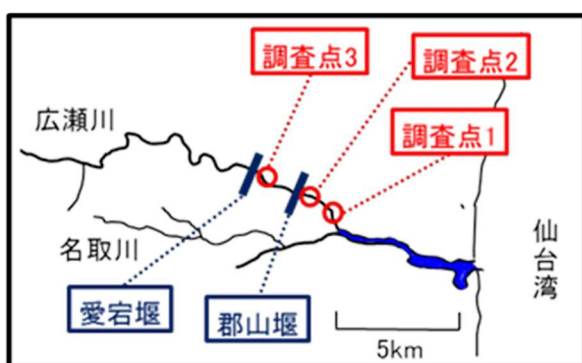


図1 アユ遡上調査地点

## (1) 調査点

- 調査点1：名取川との分岐点から2 km 上流（河口から8 km）
- 調査点2：郡山堰下（河口から10 km）
- 調査点3：愛宕堰下（河口から11.5 km）

## (2) 調査実施日

5月12日，26日

## (3) 調査方法

各調査点において、投網を10投し、1投あたりの平均採捕尾数を求めました。また、1調査点あたり50尾のアユを当场に持ち帰り、大きさ（標準体長および体重）を測定しました。このとき、広瀬名取川漁業協同組合では、調査区域内に人工種苗のアユを放流しているため、測定した50尾のアユから人工種苗の混入率を算出し、求めた平均採捕尾数の値を補正しました。



図2 調査風景①



図3 調査風景②



図4 採捕したアユ

#### (4) 調査結果

##### ①各調査地点の天然アユの平均採捕尾数

各調査地点における天然アユの平均採捕尾数（直近3か年と平成26年から平成30年までの平均値）を図5に示しました。

調査点1は、令和元年、2年の平均採捕尾数と比較して、5月上旬の採捕尾数が比較的多い結果でした。その他の調査点、調査時期は、ともに平年並み又はやや少ない傾向がみられました。また、昨年は5月時点で殆どアユが確認されなかった調査点3で、5月下旬にまとまった数のアユが確認されました。

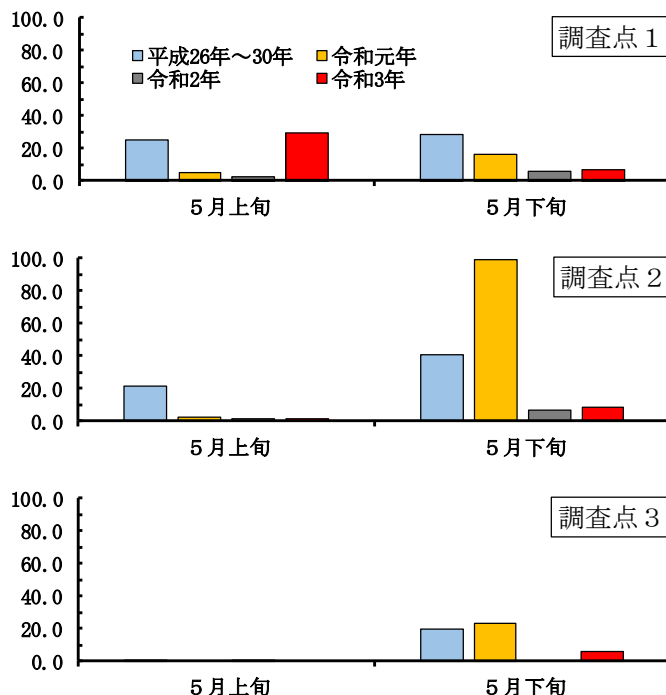


図5 各調査地点における天然アユの平均採捕尾数

##### ②調査点2で採捕した天然アユの標準体長

調査点2で採捕した天然アユの体サイズ（標準体長および体重）の散布図を図6に示しました。5月に採捕したアユは6～10cmほどの個体が中心でしたが、最大で14cmほどの大型個体が見られました。また、令和元年度に採捕したアユと比較すると、本年度は5月時点の肥満度がやや低い傾向がみられました。

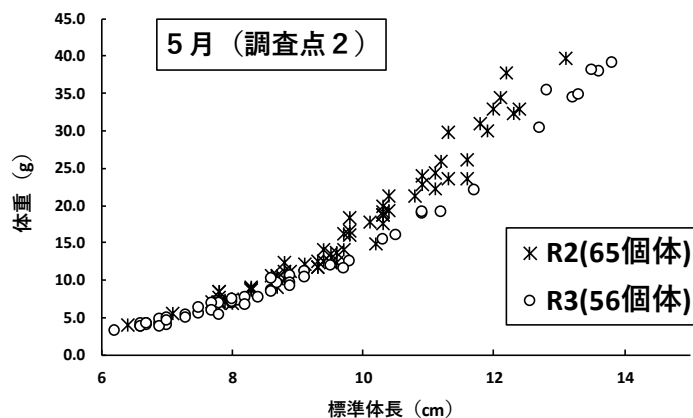


図6 調査点2での天然アユの魚体サイズ

# 令和3年度広瀬川における天然アユ遡上調査結果（6月分）

令和3年6月30日  
宮城県水産技術総合センター  
内水面水産試験場

宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場では、アユ釣り解禁前の情報提供と資源管理のための基礎データを得るため、毎年5月と6月に広瀬川において、天然アユの遡上状況を調査しています。本年度の6月分の調査結果は、以下のとおりです。

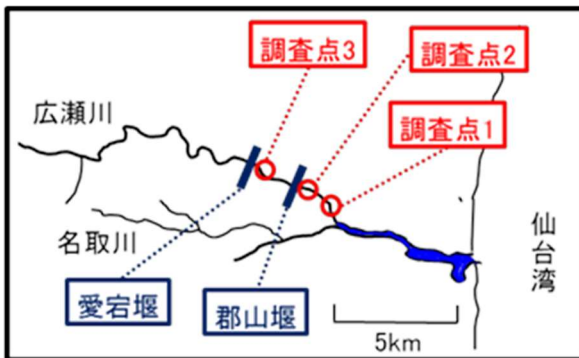


図1 アユ遡上調査地点

## (1) 調査点

- 調査点1：名取川との分岐点から2 km 上流（河口から8 km）
- 調査点2：郡山堰下（河口から10 km）
- 調査点3：愛宕堰下（河口から11.5 km）

## (2) 調査実施日

6月9日，24日

## (3) 調査方法

各調査点において、投網を10投し、1投あたりの平均採捕尾数を求めました。また、1調査点あたり50尾のアユを当场に持ち帰り、大きさ（標準体長および体重）を測定しました。このとき、広瀬名取川漁業協同組合では、調査区域内に人工種苗のアユを放流しているため、測定した50尾のアユから人工種苗の混入率を算出し、求めた平均採捕尾数の値を補正しました。



図2 調査風景①



図3 調査風景②



図4 採捕したアユ



#### (4) 調査結果

##### ①各調査地点の天然アユの平均採捕尾数

各調査地点における天然アユの平均採捕尾数（直近3か年と平成26年から平成30年までの平均値）を図5に示しました。

調査点1では、6月上旬、下旬それぞれ投網1投あたり19.9尾、3.9尾のアユを採捕しました。

調査点2では6月上旬、下旬それぞれ投網1投あたり11.2尾、16.9尾のアユを採捕しました。6月下旬調査では調査点2の平均採捕尾数が他調査点より明らかに多いことから、多くのアユが郡山堰下で止まっていることが分かります。

調査点3では6月上旬、下旬それぞれ投網1投あたり7.9尾、0.8尾のアユを採捕しました。なお、調査点3の上流に設置されている愛宕堰を越流してくる水量が例年よりも少なく、堤直下の河床に糸状藻類がマット状に繁茂し、土粒子の体積がみられるなど、アユの生息に適さない環境となったことから、6月下旬調査の際には殆どアユの姿は見られませんでした。

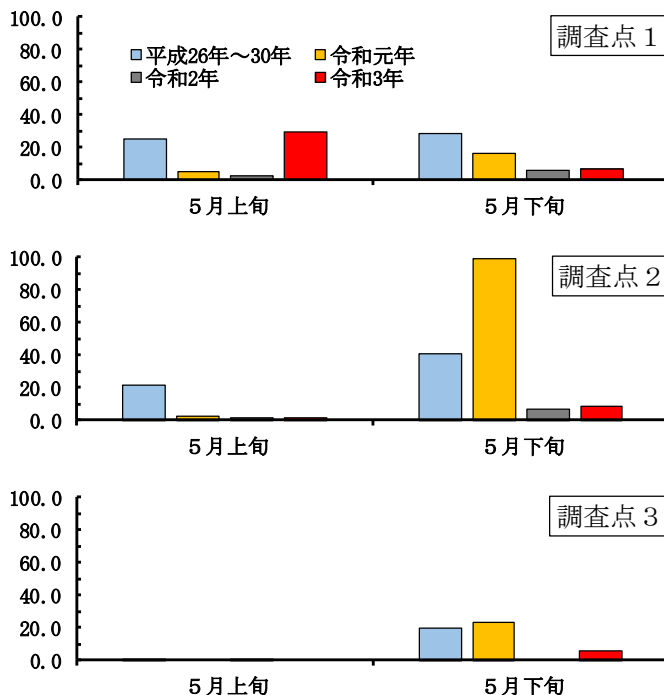


図5 各調査地点における天然アユの平均採捕尾数

##### ②調査点2で採捕した天然アユの体サイズ

調査点2で採捕した天然アユの体サイズ（標準体長および体重）の散布図を図6に示しました。令和元年度に採捕したアユと比較すると、本年度は標準体長13cm以上の大型個体が占める割合が低く、また8cm以下の小型個体が占める割合が高い傾向がありました。また、5月調査で採集した個体同様、本年度は昨年度と比較して肥満度がやや低いということがわかりました。

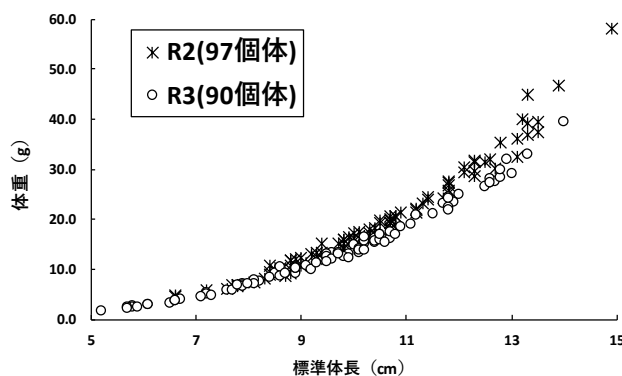


図6 調査点2での天然アユの魚体サイズ